



すびっこ  
美術館

村松幼稚園  
宮内萌々香ちゃん



夏祭り

幼稚園の夏祭りで、花火を売るお店屋さんをしているところを描いてくれたのは萌々香ちゃん(5歳)。友達と一緒にのお店で、左から2番目が萌々香ちゃん。「いらっしやいませ〜!」と、夏の楽しい思い出になったようです。

ほくの夢  
わたしの夢



夢は…。 “薬剤師”

白方小学校6年 ● 照沼ゆうり

“薬剤師になること”、それが私の夢です。

私は、小さいころから、病院が嫌いで、泣いたりわがままを言ったりして、お医者さんや母を困らせていました。診察が終わり、薬局へ。薬局に入ったとたん、笑顔の私に変身。私にとって薬局は、安心できる楽しい場所でした。

薬局では、いつも薬剤師さんたちが忙しく働いていました。どんなに忙しくても、「ゆうりちゃん、お薬がたくさんあるけど、頑張って飲んでね」と、笑顔で優しい言葉をかけてくれました。そんな薬剤師さんの一言に救われたことがたくさんありました。

薬を処方するだけでなく、病気に苦しむ患者さんの相談に親身になって応えてくれる薬剤師の仕事はすばらしいと思います。だから私も、心に元気と生きる希望を与えてあげられるような薬剤師になりたいです。

わが家の子育てノート

表紙・田所美由紀

息子(侑和、1歳10か月)が生まれたときの感動は、今でも忘れられませんが、初めての出産でとても不安でしたが、元気な産声が聞こえた瞬間、ほっとした気持ちと喜びで、息子の顔がちゃんと見られなほど涙があふれて止まりませんでした。でも、そんな思い出の間——初めての育児が始まりました。分らないことばかりで、毎日いろいろな悩みにぶつかり、何をするにもこれでいいのか?と不安になり、心配ばかりしていました。また、体力的に辛いと感ずることもあり、育児は休みがなくて、本当に大変なんだと実感させられました。そんなとき、保健センターの方からの勧めで、ママの会へ参加することになりました。同じ悩みを持つママたちと話をしたりするうちに、気持ちに少し余裕が出てきました。それから、積極的にサークルにも参加するようになり、息子も私も一緒に遊びに行ける友達ができ、充実した時間を過ごせるようになりました。毎日子どもとの時間を楽しく過ごすためには、やはり、子どもだけではなく自分も上手に気分転換・ストレス発散をできるようにすることが大切なん

だということに気が付かされ、日々心掛けています。最近の息子は、音楽に合わせて踊ったり、歌ったりすることが好きです。また、体を動かすことも大好きで、外で元気に走り回っています。追いかける私はとても大変ですが、どんなに疲れていても息子の笑顔を見ると、一瞬で疲れが吹き飛びます。そんな息子も家では、「ママ〜! ママ〜!」と、私の後をついて回り、ちよつと甘えん坊な一面もありますが、私が掃除をしたり、洗濯物を畳んだりしていると、お手伝いをしてくれて、とても優しい子に育ってくれているなと、うれしくなります。でも最近では、自分の思い通りにいかないときや、暴れたりすることがあり、大変ですが、これも自我の芽生え、成長の一つだと思いつつ、日々葛藤しています。これからもまだまだ大変なことがあると思いますが、育児や家事にとっても協力的な主人と、お互いの両親の支えに感謝しながら、今しかないわが子の成長を、私なりに見守っていき、子育てを通して家族の絆を深めていきたいと思っています。

